

住所	東京都千代田区三番町12	電話		FAX	
URL	https://www.otsuma.ed.jp				
帰国生受け入れ開始年度					
2019年度帰国生在籍数	中学1年:15人	中学2年:7人	中学3年:10人	高校1年:3人	高校2年:5人 高校3年:6人
帰国生のための部署/担当	進路・グローバル部/入試広報部 長谷良一 先生				

帰国生入試について					
出願資格・条件	保護者の海外在留のため、本人が継続して1年以上海外に在住し、帰国後、3年以内の者で、2020年3月小学校卒業見込の者				
出願書類	①海外在留証明書(本校所定の用紙)②海外における最終学校最終学年の通知表のコピー、および帰国後日本の学校に在籍している場合は、その通知表のコピー				
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	75	73	43	
	2018年	74	49	31	7
	2017年	67	47	31	10
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	実施していません。				
帰国生に対する配慮					
一般生と同一クラス。帰国生にかかわらず、英数は単元テストにおいて一定の成績を取らなかった場合、補習を実施しています。また、帰国生の先輩と話をする機会を設け、不安を解消できる環境を用意しています。帰国生入試で英語を受験し、入学した生徒については、国・算のうち受験していないほうの科目について補習を必須とします。1学期中は受講を義務とし、その後は、テストの結果や担当者間での協議によって継続が必要な生徒を判断します。					
帰国生への学習指導					
試験科目で英語を選択し、一定の点数を取った方およびプレースメントテストで一定の点数を取った方を対象に取り出し授業を実施します。中1から高1までのすべての英語の授業で展開し、高2高3は選択科目で対応します。内容としては、単に英語を「学び、使う」だけでなく「英語で考え、英語で探求する」というコンセプトのもと、Language Arts、Project、Critical Thinkingの3つを柱に、総合的な言語技術や思考力・表現力を英語で育成します。また、課題探求を英語プログラムの中軸に置き、学習の成果を形にし、実社会とのつながりを構築していきます。文学探求や模擬国連を始めとした国際課題の探求に取り組んだり、他教科のシラバスと並行するプロジェクトを行ったりします。特別取り出し授業には所属していないけれども、英語にもっとチャレンジしたいという生徒を対象にネイティブによる放課後英語講座を週に1回(2時間)開講します。普通の授業の枠とレベルを超えて、実践的な英語学習につなげます。(中1)					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
国語・算数は一般入試と傾向は一緒です。帰国生入試の過去問だけでなく、一般入試の過去問もぜひ解いて傾向をつかんでください。					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
University of Sussex Foundation Course 慶應義塾大学(看護医療学部、文学部) 成城大学(経済学部) 成蹊大学(経済学部) 日本大学(芸術学部) 他					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
高1の1月からオーストラリアのクロナードカレッジ・ロレートカレッジにおいて3ヶ月の学期留学ができます。					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
落ち着いた環境の中で自主的に行事やクラブに参加する生徒が多い学校です。異文化を経験している帰国生が力を発揮しやすい場合があります。全国高校教育模擬国連大会の役員を務める教員が本校に加入し、昨年の冬には本校を会場として30校300名が集う会議を主催しました。模擬国連をはじめ、今後活発にグローバル活動を展開していきます。また、海外進学に精通した教員をアドバイザーとして配置し、カウンセリングやエッセイ指導など、バックアップをします。これからの大妻帰国入試にご期待ください。					
帰国生対象の英語教室や各種講座について					
上記に記述しましたが、取り出し授業には所属していないが、英語力を伸ばしたいという生徒を対象にネイティブによる放課後英語講座を週に1回(2時間)開講します。(英検3級~準2級)普通の授業の枠とレベルを超えて実践的な英語学習につなげます。					